

屋久島生態系モニタリング

屋久島南部の植生垂直分布調査 (平成20年度調査)

※標高800mプロット(湯泊林道脇)の植生

標高800mプロットは、湯泊林道沿いの広葉樹林に設定した。付近は水量の多い沢の右岸部で、山腹を走る湯泊林道と沢との間の緩斜面地である。プロットの中には、分岐水流や小尾根・小沢なども含まれ、局所的に複雑な地形を呈している。なおプロット内には江戸時代に伐採したと思われるヤクスギの切株が見られる。平均傾斜は18°、斜面方位はN72°E(東向き)。

[高木層] イスノキ・ヤクシマオナガカエデ・アカシ・ヒメジャラ・クロバイ・サカキ・イヌガシ・ホソバタブ・サクラツツジ・シキミ・スキ・ウラジロガシ・ヤブニッケイ・ササンカ・エゴノキ・カラスサンショウなどが混生する。

[亜高木層] サクラツツジ・クロバイ・ハリハリノキ・サカキ・イヌガシ・シキミ・ホソバタブ・スキ・ウラジロガシ・ヤクシマオナガカエデ・ササンカ・アカシ・ヒサカキ・タイミンタバナなどが数多く生育している。

[低木層] サクラツツジ・クロバイ・ヒサカキ・シキミが比較的に多く、ササンカ・イヌガシ・サカキ・ホソバタブ・ハリハリノキ・タイミンタバナの稚樹が混生している。

[草本層] カツモウイデが多い。種数は多いが、種ごとの個体数は少なくこれといった優占種はない。谷に近い湿った環境で、岩上樹上の着生植物が多い。

[群集および特徴的な出現樹種] イスノキ・サクラツツジ群集。高木層・亜高木層・低木層にて出現しているヤクシマオナガカエデの稚樹は、この林分の草本層では確認できない。

七月一日、屋久島高等学校普通科環境コースの夏期研修が屋久島環境文化センターを拠点として実施され、屋久島森林環境保全センターには屋久島の現状等について講義の要望がありました。当日は、樹木医の荒田洋一氏の協力をいただき、午前中は教室にて屋久島の希少植物や森林管理署(環境保全センター)の業務、自然遺産地域における異変と、ヤクシカのおける食害や入り込み者の増加問題について講義を行いました。



白谷雲水峡内での植生学習

屋久島環境教育活動の高等学校

屋久島の生態系に関する学習

シカ対策における検討会
動着3地 行討の植域る年でいるに
パシ地域今つす個生等西度、林取つ屋
ン移シの度いてる体にて部よ林組い久
ン動シの度はたため調す力世界庁が積は島
の状力調はと、この方調の含め産、地平。行機シカ
把握のG含たにです。業をシや
行装内部 業を
をだつ生すにも行シ会 情報と留二タか、
睨みての注す席機には、今検ししま図ユリン、
ながら平幅モ意るい関関、回討をてら鑑アング、
成広二事意だ地る久委す屋委託事業内での植生モニ
らより二ごり長デ、調友者外での検
良い年度見をな的に項か関ヤ
調査に植関目ら係ク討 よるとに嫌

午後から屋久島野外活動センターで、自然観察会を開催しました。参加者は、白谷雲水峡の植生を学習し、環境保全の重要性について学びました。また、屋久島の自然資源の現状と課題について話し合い、今後の取り組みについて意見交換を行いました。

環境教育活動の高等学校
屋久島の生態系に関する学習
白谷雲水峡内での植生学習

シカ対策における検討会
動着3地 行討の植域る年でいるに
パシ地域今つす個生等西度、林取つ屋
ン移シの度いてる体にて部よ林組い久
ン動シの度はたため調す力世界庁が積は島
の状力調はと、この方調の含め産、地平。行機シカ
把握のG含たにです。業をシや
行装内部 業を
をだつ生すにも行シ会 情報と留二タか、
睨みての注す席機には、今検ししま図ユリン、
ながら平幅モ意るい関関、回討をてら鑑アング、
成広二事意だ地る久委す屋委託事業内での植生モニ
らより二ごり長デ、調友者外での検
良い年度見をな的に項か関ヤ
調査に植関目ら係ク討 よるとに嫌

シカ対策における検討会
動着3地 行討の植域る年でいるに
パシ地域今つす個生等西度、林取つ屋
ン移シの度いてる体にて部よ林組い久
ン動シの度はたため調す力世界庁が積は島
の状力調はと、この方調の含め産、地平。行機シカ
把握のG含たにです。業をシや
行装内部 業を
をだつ生すにも行シ会 情報と留二タか、
睨みての注す席機には、今検ししま図ユリン、
ながら平幅モ意るい関関、回討をてら鑑アング、
成広二事意だ地る久委す屋委託事業内での植生モニ
らより二ごり長デ、調友者外での検
良い年度見をな的に項か関ヤ
調査に植関目ら係ク討 よるとに嫌

屋久島の植物



ツルラン (ラン科)

野生鳥獣との共存に向けた生息環境等調査検討会の様子



調査となるよう進めている

白谷雲水峡「奉行杉コース」の枯損している大径木
意く枯時にはをるをを療の
をるれには行はる身等
場たは行はるにレク
合は強年つうにク等
も幹風な、に森取
あやや大い、に森取
り枝何径ます、は取
まがか木が、は組
す落のも、が、ん、
下弾多、ト、で、組
ごし、く、森、口、屋
注て、奥ル、だ、久
の森、奥ル、だ、久

咲七五いcmれ島南
花か月〇てほるでに鹿
期せ〇cmいど。は分児
七るから程る。は布島
〜から、の、は低すの
八月 白花葉の七幅地
い茎のく八の多
花を間八cm林年鳥
を伸か枚長内草と
次ばらほさに黒
々し高ど四み屋
に、さつ〇ら久

屋久島の植物

洋上アルプスNo.49(平成11年4月)～No.72(平成13年3月)掲載



アオモジ



シャリンバイ



フトモモ



ツルアジサイ



シマサクラガンピ



ハマビワ



ヤッコソウ



ヤクシマツチトリモチ



トクサラン



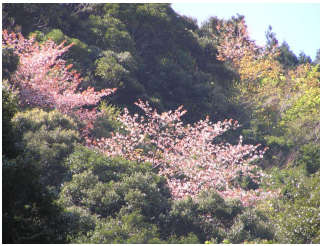
マンリョウ



サツマサンキライ



リュウキュウイチゴ



ヤマザクラ



ホウロクイチゴ



フタリシズカ



モウセンゴケ



ヒメウマノアシガタ



ヤクシマコオトギリ



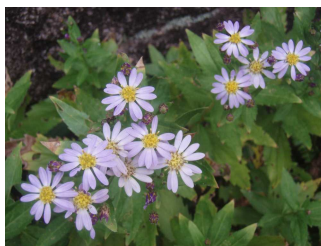
ヤクシマリンドウ



ヤクシマツナミソウ(ヤクシマナミキ)



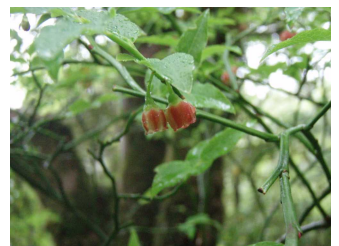
オニカンアオイ(ヤクシマアオイ)



ヤクシマノギク



シシアクチ



アクシバモドキ